

【ハートバンド】2018.11.24

～飲酒運転撲滅の一助になれば～

私は2015年の8月に神奈川県の上野原町であった飲酒ひき逃げ事故で愛娘を亡くした父親です

自らの意志で酒を飲み、自らの意志でハンドルを握る…

飲酒運転は過失では無く故意！

ゆえに私は飲酒運転による事故では無く、事件だと思っています

一人ひとりの意識が変われば、限りなく0に近づけることができる飲酒運転による悲惨な事故

2001年に危険運転致死傷罪が新設され、罪が重くなって事故は減少しました

2008年には制定前と比較して4分の1まで激減したけれど

未だに飲酒運転による死亡事故が200件を下回る事がないという事実があります

最近では交通事故を起こした時の厳罰化の流れがありますが…

未だ200件以上と事故が減らないのはまだ行政処分が甘いんじゃないか？と言う声も耳にします

煽り運転については2017年、昨年的高速道路上での死亡事故がメディアに取り上げられた事で大きな社会問題になりました

それをうけ2018年、今年の1月に警視庁から全国の警察署に対し厳罰化の通達が出されました

煽り運転や危険な幅寄せ等に対して道路交通法ではなく暴行罪が適用され逮捕された例もあります

芸能人による飲酒ひき逃げ…

悲惨な交通事故のニュースが毎日のようにテレビ、新聞、ネットで報道されているにもかかわらず

まだ年間200件以上もの飲酒運転による死亡事故が発生しています

飲酒して運転する人の意識の中に

「自分だけは大丈夫…」

「事故なんて自分には関係ない…」

「これくらいならいいだろう…」

あなたの近くにも、そう考える人がいるのは事実かも知れません

その結果、飲酒が原因の悲惨な死亡事故が後をたたないのです

実際、交通事故の死亡率を比較し、お酒を飲んでいない状況での交通事故と比べると…

飲酒による死亡事故は8.4倍

酒酔い運転による死亡事故は17倍

飲酒して事故を起こすと死亡に繋がりやすいという事実があります

飲酒してから運転すると

➡ アルコールにより脳が麻痺する

➡ 視力、知覚、運動能力が低下する

➡ 結果的に乱暴な運転、車間距離の

誤り、操作ミスやブレーキペダルを踏む迄のタイムロスに繋がる
(60kmで走行中、1秒遅れると17mも車という名の凶器は進む)

➡ 結果として交通事故に結びつく可能性が高くなる

科学的な分析もよくわかりますが…

私は精神的な部分もかなり大きいと感じています

葉山の飲酒ひき逃げ死亡事故では

運転者は酒を飲み…海の家の中で相撲をとって砂の上を転げまわっていました

近くで見ていた方々は「随分と酔ってるなあ～」と感じていたと言う証言もありました

しかし彼らは裁判の中で「これくらいなら酔ってないから大丈夫」と発言したり…

「飲酒して運転するのは過去にも何度もあったから今回も大丈夫だと思った」等
飲酒運転に対する認識が甘すぎる、信じられない発言が目立ちました

酒を飲んで運転していて今捕まるとバシてまずいから…まず逃げる

悪いことをしているという意識がきちんとあるので【被害者の保護より、自分の保身を優先】するのだと思います

ひき逃げ！これも飲酒運転による事故での死亡率を高めていると思えてなりません

娘での事故では、加害者は道路端を歩く海水浴帰りの列に猛スピードで突っ込んで3人を跳ね飛ばしたにもかかわらず…
停車して救済しようともせず…
反対車線の壁にぶつかったにもかかわらず…
その場から走り去りました

一旦家に帰り、家で飲んだことにしよう！と偽装工作をしてシャワーを浴びてかなり時間が経ってから出頭したのです

海の家で一緒に酒を飲んでいた3人の同乗者たちのうち、たった一人でも事の重大さをキチンと認識して車を止めさせていたら…

誰1人真剣に止めようとせず同じように逃げたのは、みんな飲酒運転について罪の意識を持っていたからだろう…と感じています

夕方、目撃者が多数いたので最終的には逃げられない！と考えたでしょうが…

もし深夜、目撃者がいなければ…飲酒して運転していた事実を隠すためにどうしたでしょう？

酒を飲んで運転していなければ…
正常な感覚で、正常な判断が出来る状態であれば…

直ぐに車を止めて被害者の救済にあたるでしょう

被害が最小限に食い止められたかも知れません

飲酒運転による死亡事故は
年代は10代～80代まで満遍なく
ただ男女比では、男性が9割と圧倒的に男が多いようです

例えば一家の大黒柱が飲酒運転事故で服役すると
相手方への経済的・精神的補償以外にも…
自らの家族も、友人も、大切な周りの方々も一気に不幸にしてしまいます
もちろんお酒を提供したお店も…です
一昨年は事故を起こした人にお酒を提供したお店も、50軒以上摘発されています

1人で車に乗って、1人で酒を飲んで、1人で運転して帰る…
そんなシチュエーションは稀でしょう…

お酒を飲む時って友人と、職場の仲間と…って感じが多いのではないのでしょうか？

飲んだ後にハンドルを握ろうとする人がいた時…
周りの人が、誰か1人でも勇気を持って注意したら…本気になって止めていたら…

飲酒運転による悲惨な事故は防げるはずですよ

私もお酒を飲むことは大好きで、ハッピーになることも多いです

車を運転すること自身も大好きで、楽しくなることも多いです

しかしお酒を飲んで運転すると…
これは誰もハッピーになりません

飲酒運転による死亡事故なんて…
誰も幸せにならない！
悲しい事故、いや事件は1人ひとりが意識すれば防げます

飲酒運転は立派な犯罪ですよ

飲酒運転は過失ではない為、行政処分が下されます

2日酔いであっても飲酒運転
自転車に乗っても違反ですよ

「飲酒運転はしない！させない！」
いや「飲酒運転は絶対しない！絶対させない！！」

私たち1人ひとりが本気で意識した時に飲酒運転による死亡事故は0になると信じて疑いません

月別の飲酒運転事故は、酒を飲む機会が増える12月が一番多くなります

今回、私どもの話を聞いていただいて自分たちの周りから一つでも飲酒運転による悲しい事故が無くなれば幸いです